

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	我孫子市安全・安心で人にやさしい公園づくり											
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）				交付対象	我孫子市						
計画の目標	市民が安全かつ安心に利用できる公園として、大規模公園の園路、駐車場、便所を主にバリアフリー化するとともに、公園施設の安全・安心対策を実施する。子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を推進することを目的とする。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・我孫子市が管理する公園施設長寿命化計画策定対象公園について、対象公園全ての計画策定を目標とする（策定率100%） ・我孫子市都市公園における園路広場のバリアフリー化率について、平成26年度の31%（バリアフリー化公園数52公園）から、平成30年度での34%（バリアフリー化公園数56公園）を目標とする。 											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
公園施設長寿命化計画策定公園の割合 （策定率 = 長寿命化計画策定公園数 / 長寿命化計画策定対象公園数）（%） 園路のバリアフリー化を実施したことによるバリアフリー化率 = （バリアフリー化された園路広場がある公園数） / （園路広場がある全公園数）（%）								当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	計画策定対象公園 12公園 園路広場がある全公園数 167公園	
								0.0%		100%		
0.0%	31%		34%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	114.6百万円	A	114.6百万円	B	0百万円	C	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
内部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行った。	令和2年2月
	公表の方法
	我孫子市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
A-1	公園	一般	我孫子市	直接	我孫子市	我孫子市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画(12公園) 安全安心対策(湖北台中央公園等3公園における園路等のバリアフリー化)	我孫子市						114.6	布佐南公園はバリアフリー未実施	
合計												114.6				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
 交付対象事業の効果の発現状況

- ・長寿命化計画の策定により、限られた財源で老朽化した施設の計画的な管理と補修を進めることが出来、効率的な施設の長寿命化が図れるようになった。
- ・都市公園のバリアフリー化整備工事を3公園で実施したことにより、誰もが安全に安心して公園を利用できる環境となった。

II 定量的指標の達成状況	指標①（長寿命化計画策定達成率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	公園のバリアフリー化事業費の確保が困難となったため。
		最終実績値	100%		
	指標①（バリアフリー化達成率）	最終目標値	34%		
		最終実績値	33%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
 （必要に応じて記述）

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・長寿命化計画を基に計画的な公園施設の維持管理を行い、安全・安心な都市公園を目指すとともに、バリアフリー化未実施の公園についても、誰もが利用できるようバリアフリー化整備事業を進めていく。